

平成 26 年 5 月 14 日

福島大学うつくしまふくしま未来支援センター編
『福島大学の支援知をもとにしたテキスト災害復興支援学』
発行のお知らせ

概要

災害復興支援の最前線で活躍している福島大学うつくしまふくしま未来支援センターのスタッフが、日ごろの支援活動を通じて得られた支援知をもとにして作成したテキストです。現場から掘り起こした体験を体系的に整理して研究と結びつけており、福島ならではの成果であると自負しています。

本テキストは、福島大学の共通教育の総合科目「災害復興支援学」で活用されるとともに、書店等で市販されることから、幅広く活用していただければ幸いです。

【目次】

序章 原災地復興の視点(山川充夫)

第1章 福島復興の方向性

- 1 福島原子災害からの復興をめざして(中井勝己)
- 2 福島県がめざす「復興」のかたち(塩谷弘康)

第2章 震災と復興支援

- 1 災害復興支援とは何か(開沼博)
- 2 災害復興支援に関する国際社会の取り組み(三村悟)
- 3 江戸時代以降に日本で発生した主な地震とその災害について(中村洋介)

第3章 福島県での発災初期の対応

- 1 避難所の運営と市民協働(天野和彦)
- 2 東日本大震災による福島県の文化財被害と今後の課題(菊地芳朗)

第4章 放射能災害への対応

- 1 放射線の基礎知識と福島県の現状(河津賢澄)
- 2 陸域環境における放射性物質の動態と農業への影響(大瀬健嗣)
- 3 大気における放射性物質の輸送と拡散(北山響)

第5章 暮らしの復興を目指して

- 1 避難生活から暮らしの復興へ(佐藤彰彦)
- 2 「困り感」に寄り添う子ども支援(本多環)
- 3 災害復興と若者の自立支援(五十嵐敦・今泉理絵)

第6章 福島県経済の復興

- 1 地域経済の復興再生の課題(渡辺正彦)
- 2 原子力災害後の食と農の再生(小松知未)
- 3 食と農の再生と持続可能な放射能対策(石井秀樹)
- 4 震災被害の実態と中小企業復興の課題(初澤敏生)

第7章 新しい地域づくりへ向けて

- 1 災害時のモビリティ確保に求められる視点(吉田樹)
- 2 住民帰村のための川内村での取り組み(高木亨)
- 3 福島県が主役の地域エネルギー政策(大平佳男)
- 4 地方におけるスマートコミュニティ構想(星効)



福島大学の支援知をもとにした
テキスト災害復興支援学

編者 福島大学

うつくしまふくしま未来支援センター

発行所 株式会社 八朔社

発行 2014 年 3 月

定価 本体 2,000 円 + 税

ISBN 978-4-86014-068-7

(お問い合わせ先)

うつくしま未来支援センター

電話：024-548-2865